

荒川水辺サポーター活動実施のステップ

STEP.1

学校、職場、地域の仲間を集めて、団体（市民団体・企業・学校など）ごとに、お申し込みください。

STEP.2

活動・支援等の内容に関する合意確認の手続きを行い、「荒川水辺サポーター」となります。

STEP.3

事前連絡のうえ、必要に応じて資機材の貸与を受けて、活動を行ってください。

STEP.4

活動の都度、結果をご報告ください。結果は事務所ホームページで、随時公開いたします。

【制度概要】国土交通省荒川下流河川事務所では、多様な生物が生息・生育する荒川の自然地の環境保全・活用を目指し、「荒川下流自然地管理アダプト制度」に基づき、地元自治体（足立区）と協力し、活動団体「荒川水辺サポーター」の皆さんによる自然地の維持・保全活動を推進しています。実施要領等の詳細は、同事務所ホームページ（下記URL）でご確認ください。

【活動内容】本木自然地の維持・保全活動として、「ゴミ拾い」、「草刈り・草抜き」、「動植物の調査」を実施（いずれか年1回以上）してください。団体ごとに、担当区画（1区画以上）を設定しますので、活動は区画内を目安として実施してください。

【支援内容】ゴミ拾いや草刈り・草抜きに必要な資機材（のぼり旗やゴミ袋、軍手等）の貸与や提供、回収したゴミの処分、活動の広報、アダプトサインの設置等の活動支援が受けられます。

【申込方法】実施要領をご確認のうえ、必要事項を記入した申込書を、申し込み先まで送付（郵送またはFAX、e-mail）ください。その後の手続きについて、折り返しご連絡いたします。実施要領および申込書は、荒川下流河川事務所ホームページ（下記URL）で入手できます。ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

※ 実施要領の内容に合意いただける団体であれば、どなたでもお申し込みいただけます（足立区外からの参加も可能）。

↓ これまでの活動状況や実施要領・申込書など、詳細はホームページでご覧になれます ↓
<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00005.html>



本木自然地へのアクセス

■ 扇大橋駅または足立小台駅（日暮里舎人ライナー）より東へ約1.5km

本木自然地（東京都足立区）は、荒川の左岸（北側）にある、西新井橋と扇大橋の間のおよそ0.5km区間の河川敷です。



本木自然地のほか、足立区千住桜木自然地、江戸川区小松川自然地でも、「荒川水辺サポーター」の参加団体を募集しています。詳細はホームページ（上記URL）をご参照ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

荒川下流河川事務所では、本活動を通して以下のSDGsの目標達成に貢献する取組みを進めています。

- 4. 質の高い教育をみんなに**
持続可能な開発のための教育（環境教育）を通し、ボランティア活動、CSR活動の推進を行います。
- 13. 気候変動に具体的な対策を**
河川の維持管理を通して、洪水に対するレジリエンス（強靱化）を強化します。
- 15. 陸の豊かさも守ろう**
外来植物の駆除・保全活動を行うことで、自然地の維持・絶滅危惧種の保護を行います。

- 6. 安全な水とトイレを世界中に**
ゴミ拾いを通して、河川の水質や生態系の保護・回復に寄与します。
- 14. 海の豊かさを守ろう**
漂着ゴミ、不法投棄ゴミを減らし、海洋汚染を防止します。
- 17. パートナリシップで目標を達成しよう**
市民団体・企業・行政の協働により、自然地の維持・保全活動を行います。

お申し込み・お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1 TEL.03-3902-8745 FAX.03-3902-3670

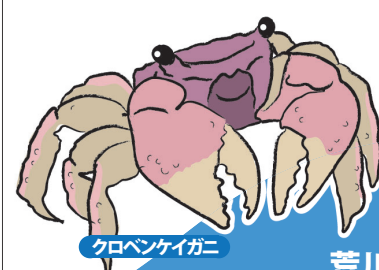
【E-mail】ktr-arage-kankyo@gxb.mlit.go.jp

（担当：地域連携課）

本木自然地の

荒川水辺サポーター参加団体を募集しています。

荒川水辺 サポーターになりませんか？



荒川の下流部は、年間1,500万人が訪れる憩いの場であるとともに、ヨシ原や干潟などの広がる自然地があり、動植物にとっても大切な場所です。しかしその一方、漂着ゴミの堆積や外来植物の繁茂などの課題もあります。

「荒川水辺サポーター」は、こうした自然地の維持・保全活動を行う環境ボランティアです。

？ 本木自然地ってどんなところ？

ヨシ原や干潟が広がり、オオヨシキリやクロベンケイガニなど、さまざまな生物がみられます。ヨシ類を波の浸食から防ぐ「木工沈床」を設置しており、ヨシ原の拡大傾向が確認されています。



水際に広がるヨシ原は、木工沈床により波の浸食から守られています



オオヨシキリはヨシ原に巣をつくります



クロベンケイガニなどのカニ類がみられます



近傍には公園やグラウンドがあり休日とはくに利用で賑わっています

自然地周辺は、自然に囲まれながら、スポーツ・散歩・サイクリングなどが楽しめるオープンスペースとして、多くの人びとに親しまれています。

？ 本木自然地ではどんな問題があるの？

ゴミの不法投棄が多く、自然地の景観を損なっているだけでなく、生物の生息・生育環境に悪影響を与えています。また、水際には漂着ゴミの堆積もみられます。



自然地に投棄されたゴミ



アレチウリ



セイタカアワダチソウ



植生が繁茂し見通しの悪い水際

外来植物アレチウリやセイタカアワダチソウなどの繁茂により、良好なヨシ原の環境に悪影響が生じているだけでなく、見通しが悪く、人が水際に近づくのが難しくなっています。

？ 荒川水辺サポーターはどんな活動をしているの？

- 自然地の環境を維持・保全するため、ゴミ拾いのほか、外来植物の駆除（セイタカアワダチソウの抜き取り）、ヨシ原の手入れ（冬のヨシ刈り）、生物調査（特定外来生物の記録）などを行っています。
- サポーター活動とあわせて、河原の生物を学んだり、参加者同士の親睦を深めたり、楽しみながら実施しています。
- サポーター活動を公募イベントとして開催し、参加者を広く集めて実施しているケースもあり、河川環境保全の啓発にもつながっています。
- また、年1回、参加団体が集まり情報交換を行う連絡会議を開催しています。



ゴミ拾い



草抜き・草刈り



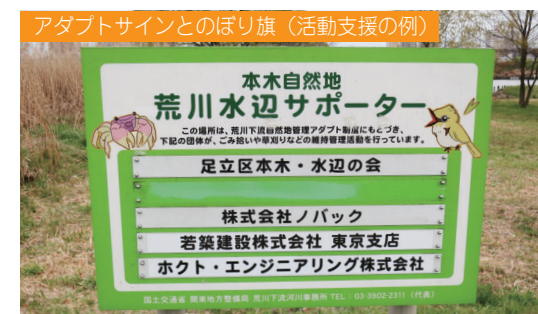
生物調査



環境学習

荒川水辺サポーターに関するQ&A

- Q どんな団体が活動しているの？
- A 市民団体、地元小中学校や企業などで、年間10数団体が活動しています。参加団体リストや活動成果は、ホームページ（裏面URL）で公開していますので、ご参照ください。
- Q 活動の頻度や期間はどのくらい？
- A 活動頻度は年1回以上であればOKです。活動期間は1年間（4月から翌年3月）で、何期でも継続できます。
- Q アダプトサインってなに？
- A サポーター活動にあたって、さまざまな支援（裏面参照）が受けられます。そのひとつ「アダプトサイン」は、活動団体名を記した現地サインで、サポーターの皆さんが自然地を守っていることを、訪れる人に知ってもらうことができます。



活動を実施されたサポーターさんの声です

足立区本木・水辺の会
事務局長 金子さん

本木自然地に来てみませんか？スカイツリーや水辺が望める景観は素晴らしく、心が癒されます。季節ごとのさまざまな生き物とも楽しく触れ合えます。毎月、ゴミ拾いや草刈りを行っています。



荒川水辺サポーターの皆さんには、本木自然地内に担当区画を設定し（A～F区の1区画以上）、区画内の維持・保全活動を実施していただいています。現地には、区画ごとに活動団体名を記したアダプトサインが設置されています。

